

平成30年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 市民派無所属西東京)

経費項目	広報費		
整理番号	月日	支出額(円)	支出内容
	12月3日	209,070	市議会レポート2018特集号
小計		209,070	備考
合計		209,070	

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 _____

調査研修費		【内容説明欄】 納田さおり市議会レポート 2018 特集号
視察研修費		
広報費	○	
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

領収書

2018年12月03日

市民派無所属西東京会派代表 納田さおり 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしく願い申し上げます。

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

お支払条件 銀行振込(ペイジー)

納品場所 ご指定場所

御請求金額 209,070円(税込)

納品期日 1営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC18106911	品名：納田さおりレポート2018特集号(折込) A3 / 両面4色 / コート90 / 50,100部 / 加工1：二つ折り 加工2：	1	209,070	209,070
合 計				209,070

特記事項

金融機関の振込証明書および振込完了画面のプリントアウトが、税務署で認められている正式な払い込みの証明書類となります。
こちらの領収書が精算等にご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

日本初・女性初 危機管理士1級&防災士
「大災害に打ち勝つ地域力を創る！」

西東京市議会議員
のうだ

納田さおり



2018年 特集号 <https://saorinohda.net/>



危機管理士として6年 災害対策に挑み続ける！

日本初の危機管理士1級試験が行われた時、議員・女性という立場で挑戦したのは私だけでした。防災に女性目線が必要なことが以前より指摘されており、議員や議会が災害時に活躍出来る状況を整えたいと思っていたため、何としても合格したいと努力して難関を突破することが出来ました。

危機管理士には、平常時からあらゆる災害リスクの場面を考えながら行動し、いざという時に迅速かつ的確に対応する資質が求められています。

この4年間、多くの被災地を訪れながら、西東京市が大規模災害に見舞われた場合にはどのようなリスクが発生し、軽減策として何が必要なのかを常に考えながら活動してきました。そして市議会において、その多くを防災政策の提言としてきました。



8月岡山県倉敷市真備町で支援・調査活動

熊本地震から避難所の現実を直視する



2016年8月、熊本県益城町役場で避難所対応の課題などについて調査

二度の震度7の大地震に見舞われた熊本県では、女性・子ども・高齢者が直面する諸課題を調査しました。

熊本市では、市立小学校の校長・副校長・PTA・小池洋恵熊本市議から避難所で実際に

起きた様々な困難についてお話を聞き、孤立した高齢者や外国人への対応の難しさなどを痛感しました。これら課題は一般質問で取り上げています。

新潟県糸魚川大火から地域コミュニティ再構築の重要性を思い知る

たった1件の出火から4万㎡のまち全体が焼失した糸魚川大火の現場では、うっかりミスが導く恐ろしい現実を目の当たりにしました。

しかしこれだけの大火にも関わらず死者はゼロ。地域住民が声を掛け合い、一人も取り残すことなく避難出来ました。災害時における地域住民同士のつながりがいかに大切か実感しましたが、同時に地縁関係が希薄になっている西東京市の現状に大きな不安を感じました。地域コミュニティ再構築を改めて検証しています。

西日本豪雨から河川防災を再考する

この夏訪れた岡山県倉敷市真備町では、石神井川や白子川と同じ一級河川である小田川の氾濫の猛威に衝撃を受けました。石神井川の時間雨量50mmの対策工事は市部では20%しか進んでいないため、ハザードマップの精度を上げる必要性があり、東京都に新たな浸水域の想定を求める意見書を提出しました。同時に避難所となる学校を確実に整備するため、学校施設環境改善交付金の充実を求める意見書を国に提出しています(自民党は、学校は避難所になるべきでないという理由を述べてこの意見書に反対)。

実際に被災地で感じ取った多くの気づきを、西東京市の防災対策に反映させていくことが今後の大きな仕事です。講演会など啓発活動にも積極的に取り組んでいきますので、ぜひご参加下さい。



11月24日、防災講演会を実施
市民と意見交換を行う。

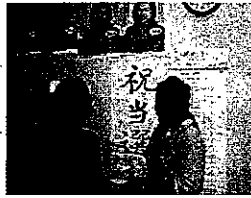
納田さおり 3期 12年のあゆみ

初当選・一期目:2007年~2010年

選挙:2006年12月24日 1754票(21位)

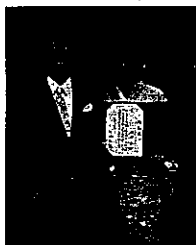
専業主婦から市議会議員へ(2006年)

谷戸公民館保育室運営会議の母親仲間たちが、土井節子元市議(無所属)が後継候補を探していることを知り、私を推薦してくれた事がきっかけで、市議会議員への道が拓かれました。選挙は全く未経験の私を、土井さんとその支援者、私の母親仲間がタッグを組んで支えて下さり、無事初当選を果たしました。



土井元市議からバトンタッチ

公共政策大学院入学(2008~2010年)



恩師の青山侑先生(元東京都副知事)

議員になったものの行政経験の不足は否めず、確かな知識を得たいと思って、明治大学公共政策大学院がガバナンス研究科に入学することを決断しました。

娘たちが小学校低学年と幼稚園だったので、ベビーシッターやファミリーサポートのお世話になりながら必死で夜間授業に通いました。

元東京都副知事の青山侑先生のゼミ生となった事で、多くの首長・議員・民間企業社員との交流が深まり、施策に対する視野が大きく広がりました。

北欧・英国視察(2009年)

大学院に入り、最も良かったことは、海外視察(もちろん自費)の機会を頂いたことです。

スウェーデン・マルメ市の障がい児施設では、「ハビリテーション」(損なわれていない機能を最大限に生かし社会生活を快適に過ごせるようにする)という前向きな思想を学び、深い



英国の田園都市レッチワースとウェルウィンの調査をきっかけに、都市緑化と広場のあるまちづくりに大きな興味を抱き卒論に取り上げる。

感銘を受け、現在に至るまで障がい者施策や福祉を考える上での大きな土台となっています。

英国の田園都市構想発祥の地、レッチワースとウェルウィンでは、西東京市にとっても重要な課題である「都市と農地の共存」を学びました。駅前に広場のある美しい緑のまちづくりに触発され、卒論のテーマは市民協働による都市緑化を取り上げました。

大学院生活で得た知識や人脈は一生の財産となったのですが、この間、離婚をしてシングルマザーになるという私生活の激変があり、子育てと議員生活の両立という厳しい現実と直面しました。

しかし、私を支えて下さる多くの方々のお力添えにより、二度目の選挙も何とか乗り越える事が出来ました。

人は独りでは生きられないという実感を抱いたからこそ、孤立するひとり親家庭や、ひとり暮らしの高齢者の支援策に力を入れて行きたいと考えています。

二期目:2011年~2014年

選挙:2010年12月26日 1955票(9位)

東日本大震災(2011年)

二期目、最初の当初予算の審議中、突然起こった大きな揺れが東日本大震災でした。大津波がまちを飲み込む様子を観た時の衝撃は生涯忘れません。



大津波で壊滅した陸前高田市で黙祷

その直後に起きた福島第一原発事故に伴う計画停電と放射能汚染への不安が渦巻く中で、市議会議員として迅速かつ確かな情報を市民に提供したいと、メール配信に明け暮れる日々でした。

おもちゃ・絵本支援(2011年)



沢山集まった絵本とおもちゃの支援物資は自宅の駐車場に一時保管

震災直後から被災地支援に入っていた友人から、避難所で暮らす子ども達が遊ぶものが全く無いという連絡が入り、その内容を設立したばかりの西東京プレーパークキャラバンのメンバーに伝えると、早速、おもちゃと絵本を集めようということになりました。

震災後約2週間の3月27日、台公園で収集活動を行ったところ、なんと2トントラック2台分以上の物資が集まりました。

これらをボランティアの母親たちの手で仕分けし、汚れなどをきれいに除去して、おもちゃと絵本のセット「プチ児童館パック」を作って被災地に送りました。

私自身も東北各地を巡ってこのパックを届けながら、気仙沼市の花の道45復興事業にも参加しましたが、大津波が破壊した大災害の現場を目の当たりにし、人生観が大きく変わりました。



プチ児童館パックで遊ぶ被災地の子ども達



気仙沼市の花の道45の復興活動。地元の外国人たちと共に。

危機管理士2級受験(2012年)



災害時における飲料水の大切さを伺う

東日本大震災後、西東京市の避難所に飲料水の備蓄が全くない状況が発覚しました。私は、被災地で出会ったある女性から、緊急援助物資が足りず500mlのペットボトルの水2本で一昼夜を過ごしたが、受け取ったのが水だったため生き延びられたというお話を聞いていたので、以後、機会ある毎に災害用飲料水の備蓄を求めました。しかし、行政は頑な態度で同意しようとしません。そこで、自らが防災の専門家となり、飲料水備蓄に説得力を持たせる必要があると考え、危機管理士2級(自然災害編)試験を受験し合格しました。(なお諦めず要望した結果、災害用飲料水は2017年度全小中学校に備蓄が完了しました。)

～乳がん闘病を乗り越えて～

米国ニューヨーク市児童保護課視察(2012年)



ニューヨーク市役所児童保護課のスタッフと児童虐待対応の意見交換を行う

明大大学院の青山ゼミ有志で、ニューヨーク市役所の児童保護課を訪問し、大きな学びを得ました。ニューヨーク市では、5つの行政区で年間約6万件の虐待通告を受け、360ユニットで対応します。

子どもの安全を最優先にしながら、家族や親の抱える諸問題(貧困・病気・精神疾患・アルコールやドラッグの依存症・孤立など)を支援する体制が重視されています。家族・親支援まで十分に手が回らない日本の児童相談所の現状を振り返り、社会的児童養護における自治体の役割の大きさを改めて実感しました。

乳がん告知(2014年4月)

2014年2月に左胸に違和感があり、検査したところ、4月にステージ2Aの初期乳がん告知されました。

娘たちのために、とにかく生き延びなければならぬと覚悟を決めましたが、様々な治療法がある中で、即断していかなくてはならない状況に、相当の勇気が要ることが分かりました。

化学療法の前半は吐き気止めの強力な薬が効いて、思っていた以上に普通の生活が出来たのですが、議事が長引いた時など、医療用ウィッグを着用し続ける事が大きな負担となることもあり、さらに最終段階に至り、免疫力が激減する事態に陥りました。



化学療法の最中



議事延長時は医療用ウィッグを外す

闘病と選挙(2014年12月)

立ち上がる事も出来ないくらい具合が悪くなった化学療法の最終盤、選挙準備が佳境に入りました。

最後の定例会は、這いつくばって何とか自分の一般質問だけ乗り切った状況で、選挙はもう無理かも知れないと悲観的になる瞬間もありました。

あの頃の自分のことは、必死過ぎて正直あまりよく覚えていません。周囲の人々が私を懸命に支えて下さったおかげで、厳しい戦いを勝ち抜くことが出来たのだと感謝のみが胸に深く刻み込まれています。



多くの人々の支えがあって選挙を乗り越えられました。医療用ウィッグがボロボロになるまで戦いました。

三期目:2015年~2018年

選挙:2014年12月21日 2139票(8位)

日本初・女性初 危機管理士1級合格(2015年)

選挙直後の1月、日本初の危機管理士1級試験を受験しました。

自分でも驚くほど元気になって試験を合格出来たのは奇跡だと思っています。



危機管理士一級試験

その後すぐに放射線治療が始まりましたが、合間を縫って訪れた福島県南相馬市で、原発事故を経験した自治体の厳しい現実を思い知りました。

この他にも三期目の任期中は、複数回東日本大震災被災地を訪れ、復興状況を確認するとともに災害時の議会対応を調査しました。大津波で多くの住民が亡くなった現場を訪れる度、命の尊さを噛み締めています。

ピンクリボン(乳がん啓発)活動(2015年~)



乳がん啓発活動のお手伝い

乳がんになっても初期で対応すれば延命や健康回復が高まることを実感し、そこで闘病経験を活かすために2015年ピンクリボンアドバイザーの資格を取得して、現在相談活動を行っています。乳がん発症リスク年齢層が多く参加する西東京市バレーボール協会の試合会場では、市の健康課の協力で啓発活動も行いました。

性暴力被害当事者とロビー活動(2016年~)

2015年から性暴力に関する刑法改正の動きが活発化し、私は「刑法と性暴力を考える当事者の会」に参加、実際に性暴力被害を受けた当事者と共にロビー活動や啓発イベントなどを実施しました。西東京市議会から、



性暴力被害当事者と刑法改正のロビー活動、法務省記者クラブ

私が提案者となって性犯罪の非親告罪化や刑法改正の早期実現を求める意見書を提出し、側面支援を行いました。

結果、2017年6月、110年ぶりに性暴力に関する刑法改正が実現。引き続き、被害当事者団体が発展した(一社)Springに所属し、市内でも子どもとティーンエイジャーを性暴力から守る市民活動の展開を始めています。

剣道の再開(2018年~)

乳がん闘病で不安定になっていた免疫力が回復し、健康増進のため小2から大学まで続けていた剣道を再開しました。

西東京市バレーボール協会と西東京市なぎなた連盟の会長を拝命して5年が経過し、スポーツコミュニティの重要性を強く感じています。2020年東京五輪・パラリンピックに向け、市民がスポーツに親しむ環境整備を図りたいです。



都生涯スポーツ大会

見えない! 田無駅南口まちづくりの将来展望

田無駅南口開発は今年3月に東京都の事業認可が下り、2022年までに駅前ロータリーが建設される予定になっていますが、その先の将来ビジョンが全く見えて来ないのが問題です。11月19日、任期最後の一般質問において私はこの問題を追及し、田無駅南口周辺に地区計画を策定してまちづくりを誘導する案や、路線バスが乗り入れ可能となるために市役所通りを拡幅する案を提言しましたが、丸山市長は「地区計画を策定する予定はない」「市役所通りは拡幅しない」と断言。

来年開放されるひばりヶ丘駅北口については、当時の坂口市長が東京都のしゃれた街並みづくり推進条例による「街並み再生地区」の指定を受け、地区計画を策定して積極的な対応を行いました。一方で、市内随一の乗降客数を誇る田無駅の南口周辺に対する、丸山市長の後ろ向きの姿勢に不信感を否めません。

さらに、近隣にある市民の利用が極めて多い中央図書館と田無公民館を、5~6億円かけて2022年までに耐震化を行い、約17年間、現状の狭い古いまま使用し続けようとする方策も大いに疑問です。

私は今後、田無駅南口の未来を市民と共に考える会を立ち上げてこの問題を追求していくつもりです。



西東京マリーゴールドの会結成!

子ども達を性暴力から守る地域社会と誰もが親しみやすい性教育を考える市民の会が立ち上がり、11月18日に一般社団法人Spring代表理事の山本潤さんをお招きしてトークセッションを行いました。是非この問題に関心をお寄せ頂きたいと思います。

お問い合わせ: marigoldnshitokyo@yahoo.co.jp



納田さおり(のうだ・さおり)プロフィール

1970年生 武蔵村山市出身

1993年早稲田大学人間科学部

人間健康科学科卒業

(在学中体育局剣道部所属)

2010年明治大学公共政策大学院

ガバナンス研究科卒業(青山ゼミ)

<職歴>

オンワード樞山(総合職)、博報堂

(営業補佐)、司法書士補助者

<資格>

公共政策修士、危機管理士1級、

防災士、剣道3段、ピンクリボンアド

バイザー(乳がん啓発)

<地域活動>

西東京市バレーボール協会会長、

西東京市なぎなた連盟会長、西東京

稲門会常任幹事、教育系NPO

監事、西東京剣友会会員、柳沢小

青少年育成あしたば会会員

<趣味>

西東京市産野菜のレシピづくり

<家族>

長女(大1)、次女(高1)、

犬スピッツ(白)、猫(黒)

自治体のリーダーが納田さおりを応援!



成澤廣修 文京区長

納田さんのパワーにはいつも驚かされています!

地域の宝物である子どもたち、その地域を守り育ててくれた高齢者、この二つの世代へのしっかりした政策を届けるために、これからも共に頑張りましょう!



松本武洋 和光市長

納田さんは党派に縛られない無所属議員として、子育て・教育・防災など地域の身近なテーマに地道に取り組んでいます。

大学院で公共政策を学び、防災士の資格を取得する志の高い政治家です。西東京市政に不可欠な人材として、心から推薦します!

納田さおり後援会チームグリーンからのお願い

納田さおりは政党や政治団体の支持や支援は一切受けず、市民の応援のみによって支えられ活動を行っています。ボランティアや資金面のご支援をよろしくお願い致します。

ゆうちょ振替口座 00180-9-363807 名義: 納田さおり後援会チームグリーン

(他行からお振込み: 店番 019 店 当座 0363807)

事務所: 西東京市田無町 2-19-8-2F TEL/FAX 042-452-9494

